

PDA 東京都公立中高一貫校中学校即興型英語ディベート交流大会 2021

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年2月13日(土) 13:30-17:00

会場：オンライン

参加校：7校(桜修館、三鷹、大泉、白鷗、両国、南多摩、富士)、14チーム

参加者：生徒55名、教員25名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、名古屋工業大学、一橋大学

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団



開会式では、都立富士高等学校附属中学校の野村公郎総括校長より、「即興型のディベートですので、語学力や表現力を活かして皆さんの力を最大限に活かしてください。また、チームワークを発揮し、日頃の成果を出し切ることができるよう頑張ってください。」とエールが送られました。次に、PDA 代表理事である中川智皓より「再来年度からは高校の授業で『論理・表現』という新しい科目が追加されます。いろんな論題に対して多角的な意見を得ることが重要です。ディベート後にジャッジからのフィードバックの時間がありますが、ジャッジからの意見も含めて多様な意見や価値観に触れてもらえたらと思います。」とメッセージが送られました。そのあとPDA ディベート推進委員長の大賀より、参加校の紹介、ルールの復習、POI(質疑応答)の確認などが行われました。



野村公郎総括校長よりご挨拶



PDA 代表理事中川智皓よりご挨拶



POI の練習

開会式が終わるといよいよ第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドのお題は、「***We should ban school uniforms. (制服を廃止すべきである。)***」でした。肯定側は、制服にはお金がかかることや、表現の自由について、否定側は集団意識の重要性や私服によるいじめの問題などについて議論を行いました。ディベート後は、「みんな制服と私服どっちがいい？」など異なる学校の生徒との交流を楽しみました。ジャッジからのフィードバックの時間になると、自分の思いつかなかったアイデアや価値観、また説明の仕方について真剣に耳を傾ける様子が見られました。



アイコンタクトをしながらスピーチ(大泉 A)



ディベート後のエアークラップ(大泉 B vs 三鷹 B)



準備時間・ジャッジのフィードバックの様子(富士)

第1ラウンドが終わるとすぐさま第2ラウンドが始まりました。第2ラウンドのお題は、「***Schools should welcome Valentine's Day. (学校はバレンタインデーを歓迎すべきである。)***」でした。肯定側は、良い思い出になる、日本の経済にとって良い、先生が管理しやすくなる、否定側はアレルギーの問題、勉強の邪魔になる、チョコをもらえなかったら悲しいなど様々な意見が飛び交いました。また、新型コロナウイルス感染症に触れるチームもあり、経済が落ち込んでいるからむしろ学校としてイベント化し、経済を回した方がいいという肯定側の意見や、感染症拡大を防ぐために、全面的に禁止すべきだという否定側の意見が上がり、白熱した議論となりました。ディベートが終わると、お互いの学校のバレンタインデーの状況を共有するなど、とても会話が盛り上がりました。



お互いに POI をし合っています（白鷗 A vs 南多摩 A）



ディベート中の様子（左：大泉、右：両国）

第 2 ラウンドが終わると、エキシビジョンディベーターの発表です。ジャッジがもう一度スピーチを聞きたいと推薦した生徒が選ばれました。エキシビジョンディベーターが発表されると、選ばれた学校から歓声が湧きました。

準備時間中は、PDA リサーチアシスタントの今井よりジャッジの仕方についてレクチャーが行われました。レクチャーの後の質疑応答では、ジャッジの仕方を聞いて逆にディベーターとしてどう振る舞ったら良いのかという点などについて、積極的に質問する様子が見られました。

ジャッジの基準

議論の強度 = 論理性 × 重要性

論理性: 論理的にその内容は正しいか

- 筋の通った説明だったか
- 説明に飛躍はないか

重要性: その議論は試合において重要か

- 価値判断は成されているか
- 論題に関係があるか



レクチャー内容へ質問（南多摩）

準備時間が終わると、エキシビジョンディベートです。論題は、「*All senior high schools and junior schools in Japan should be unified.* (日本のすべての高校と中学校は中高一貫校に統一すべきである。)」でした。肯定側は、学年の違う人との触れ合いや、受験がない分空いた時間を自分の他のやりたいことに当てられることについて、否定側は初対面の人とコミュニケーション取る能力が育たなくなるという点やむしろ受験がないから怠けてしまうという点やについて説明しました。ディベート後は、ディベートを聞いていた生徒も勝敗を決め、挙手で投票しました。生徒の投票とメインジャッジのジャッジの結果、肯定側の勝ちとなりました。



閉会式では、都立富士高等学校附属中学校の野村公郎総括校長より、「皆さんの迫力のあるディベートを聞いて大変嬉しく思います。論理性や重要性は学校だけでなく社会に出てからも必要です。ぜひこれからもその力を磨くよう頑張ってください。」と応援のお言葉をいただきました。



野村公郎総括校長よりご挨拶

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM	■■■■さん	(都立桜修館中等教育学校)
LO	■■■■さん	(都立南多摩中等教育学校)
MG	■■■■さん	(都立三鷹中等教育学校)
MO	■■■■さん	(都立両国高校附属中学校)
LOR	■■■■さん	(都立大泉高等学校附属中学校)
PMR	■■■■さん	(都立三鷹中等教育学校)



〈チーム賞〉

- 1位 都立三鷹中等教育学校 A
- 2位 都立大泉高等学校附属中学校 B
- 3位 都立富士高等学校附属中学校 B
- 4位 都立両国高等学校附属中学校 A
- 5位 都立桜修館中等教育学校 B



1位 三鷹 A



2位 大泉 B



3位 富士 B



4位 両国 A

〈ベストディベーター賞〉

- ・ [redacted] さん (両国 B)
- ・ [redacted] さん (両国 B)
- ・ [redacted] さん (白鷗 B)
- ・ [redacted] さん (大泉 A)
- ・ [redacted] さん (大泉 B)
- ・ [redacted] さん (大泉 B)
- ・ [redacted] さん (桜修館 A)
- ・ [redacted] さん (桜修館 B)
- ・ [redacted] さん (富士 A)
- ・ [redacted] さん (富士 B)
- ・ [redacted] さん (富士 B)
- ・ [redacted] さん (南多摩 A)
- ・ [redacted] さん (南多摩 B)
- ・ [redacted] さん (三鷹 A)
- ・ [redacted] さん (三鷹 A)
- ・ [redacted] さん (三鷹 B)
- ・ [redacted] さん (三鷹 B)



〈POI 賞〉

- ・ [redacted] さん (南多摩 A)
- ・ [redacted] さん (両国 A)
- ・ [redacted] さん (白鷗 A)
- ・ [redacted] さん (白鷗 B)
- ・ [redacted] さん (三鷹 A)
- ・ [redacted] さん (三鷹 A)
- ・ [redacted] さん (桜修館 A)
- ・ [redacted] さん (桜修館 B)
- ・ [redacted] さん (桜修館 B)
- ・ [redacted] さん (桜修館 B)



参加者の声（アンケートより抜粋）

【生徒】

- ・日本語のディベート能力がないことに気づいた。（富士）
- ・二回戦目で自分の言いたいことをうまく表現できなくて悔しかった。（富士）
- ・思ったより英語で話せた。（桜修館）
- ・来年三年生になるので、また挑戦したいです！（大泉）
- ・最期のエキシビションのハイレベルなディベートを目標に精進していく所存でございます。（三鷹）
- ・英語でディベートを、しかも即興でやるというのは初めてで緊張し不安だったが、新鮮で面白かったから。（大泉）
- ・英語で話すことの難しさを感じた。（富士）
- ・コロナ禍で十分に練習ができなかったのが残念でしたが、とてもいい経験となりました。自分の未熟さもよくわかったので、これからの英語の発表などで生かしていきたいです。（両国）
- ・本当に良い刺激をもらえました。自分自身、英語力を伸ばすことができた上に、チームメイトと一つになってディベートに取り組み、勝つことができた経験は、私の大切な自信になりました。（三鷹）
- ・多くの人のアイデアを聞いて新鮮だった。また余った時間に交流できて面白かった。ジャッジの方のアドバイスや分析がとても的確で、論理的思考を競う大会だから、もっと理由をどんどん穿っていき、将来的なことや社会問題などにつなげていくと説得力が増していくと学んだ。（三鷹）
- ・楽しかったです。また機会があればディベートに挑戦したいと思いました。スピーチを作るのとディベートは共通点も多いですが、やはり即興型で進んでいく議論は一味違いました。ジャッジの方、運営の先生方、本当にありがとうございました。（両国）
- ・他校の方、それも有志の方々と交流できてとてもいい体験となりました。ディベートは難しかったですが、いい案がでたときは快感でした。とても学び多い経験でした、ありがとうございました。（両国）

【教員】

- ・英語力だけでなく、それ以外の力がつくと思いました。
- ・生徒の英語力が、グッと上がるのが実感でします。また、なかなか他校さんの様子がわからない中、交流できてうれしいです。
- ・生徒たちは勝敗にかかわらず、他校の生徒と試合ができたことが、とても楽しかったようです。英語力も向上させながら、論理的に話して伝える面白さが味わえたようです。良い機会をいただきありがとうございました。
- ・中学生の頑張りがわかった。今後も英語教育振興のために頑張りたい。